食の時記 まくらざき味探訪

爆弾コロッケ

コロッケにゆで卵を入れて、ボリュームを出しました。子どもが生まれてから作るようになり、今ではわが家の定番メニューです。

小湊 さりさん（塩屋北町）

●材料

じゃがいも	大5個
玉ねぎ	1/4個
豚ひき肉	100g
卵	3個
塩こしょう	適量
鶏がらスープの素	適量
小麦粉	適量
天ぷら粉	適量
パン粉	適量

●作り方

①じゃがいもはゆでてつぶし、卵は好みの固さのゆで卵にする。
②玉ねぎはみじん切りにし、豚ひき肉と炒め、塩こしょうで味を付ける。
③つぶしたじゃがいもに②を入れ、鶏がらスープの素を入れて味を調える。
④ゆで卵に小麦粉をまぶし、③で包む。
⑤④を水に溶いた天ぷら粉、パン粉の順に付けて、油で揚げて出来上がり。

◎タネが余ったら、枝豆を混ぜて「ひと口コロッケ」にすると、おつまみとしてもいただけます。

支え合い 認め合い 響き合う
ハーモニーだより
男女共同参画社会の実現を目指して

■「まくらざきハーモニーフェスティバル」を開催

男性も女性も個人として尊重され、それぞれが自分の能力を生かし、いきいきと活躍できる男女共同参画社会の実現を目指して、市とハーモニーネットワーク委員会の共催で「まくらざきハーモニーフェスティバル」を開催します。

日時 2月20日（土） 午後1時30分～3時20分（受付＝午後1時～）
場所 南薩地域地場産業振興センター3階大ホール
内容 講演、茶節の振舞い、抽選会など
講師 福田忠弘さん（鹿児島県立短期大学教授）
演題 見上げだ夫婦（メド）が居（お）ったもんじゃ～原耕と千代子の物語～
参加方法 会場の都合がありますので、なるべく事前に電話かFAXでお申し込みください。（当日の参加もできます）

問合せ 企画調整課市民協働係 TEL72-1111（内線460）

※「まくらざきハーモニーフェスティバル」は、高齢者元気度アップ・ポイント事業の対象事業です。

申込み 企画調整課市民協働係 TEL72-1111（内線460）、FAX72-9436

■地域の課題解決を先進地に学ぶ

市内の女性団体・グループで構成する「まくらざきハーモニーネットワーク委員会」が、霧島市で地域の高齢者の見守りを兼ねた〝お惣菜の調理と販売と配食〟の活動に取り組んでいる、上小川（かみこがわ）自治公民館の女性グループ「上小川はつらつ会」を視察しました。

霧島市で女性初の自治公民館長になった池田まゆみさんから、地域の課題解決に向けた取組や今後の展望等についての講話を聴いた後、意見交換などを行いました。

それぞれの〝かたち〟で地域づくりに携わっている両会のメンバーは、実りある学習・交流の場を持つことができました。

もっと知ろうよ 枕崎

第9回

枕崎の花き栽培

エンターテイナー“ちゃんサネ„さんと一緒に、
枕崎のことをいっぱい知って枕崎愛を育て、
あなたが案内する観光のおもてなしにも役立てましょう。

親戚をお墓に連れて行くと必ず耳にするのが「枕崎のお墓はいつ来てもきれいねぇ」という感嘆の言葉ですな。仏前に花を手向（たむ）けるにあたって「菊」という花は欠かせない。その菊の南九州最大の生産地が、わが町枕崎。特に大塚地区でありやす。

みなさんは「枕崎市大塚花き団地」というパンフレットをご覧になったことがありますかねぇ。そのパンフレットには枕崎の農業に触れて「お茶、キク、さつまいも、ニンジン、実エンドウなどが多く生産されています」と記されています。また、大塚花き団地の概況として「約32ヘクタールのハウスで輪菊、スプレー菊、ユリなどを栽培しています」とあります。

■枕崎で生産される菊

平成25年の菊の市町村別出荷数量を種類別にみると、「輪菊」は枕崎市が県内1位（全国で鹿児島県は5位）。「スプレー菊」は和泊町が1位、枕崎市は5位（全国で鹿児島県は2位）。「小ギク」は、鹿屋市が1位、枕崎市は3位となっている。

また、平成26年度の枕崎市内の花きの生産額は、大塚地区と下園地区などを合わせて16億円にもなるそうだ。

■花き栽培の歴史

大塚地区は、戦前から野菜の他にキンセンカやナデシコなど露地栽培が行われていたそうな。そんな中、昭和26年に桑原佐能志氏らによって木造のガラス室でユリの促成栽培が始められたのが、県下に誇る施設花きの集団産地へ発展した原動力となったそうだ。当時の花き栽培農家である桑原一守氏は「昭和27年頃にビニールハウスが普及し、その後改良が重ねられたことやほ場が整備されたこと、各ハウスに大塚の水道を引いたことが大きい」と、枕崎の花き栽培の産業化について語ったことが枕崎市誌に書いてあります。

このような歴史を経て、大塚地区は平成6年度に農林水産豊かな村づくり部門で「天皇杯」を受賞したというから素晴らしい。今後も電照のLED化をはじめとするハウス内の省エネ化や、パソコンを利用した経営管理や法人化などの合理化を推し進める見込みとのこと。

■受賞といえば

県内各市町村が30秒のふるさと自慢CMを競う「KKBふるさとCM大賞」で、枕崎市は「菊」を題材にした作品を2回出品し、2回とも準グランプリに輝いた。

1回目は第6回で、タイトルは「菊」。美しい菊の花の精を演出して高評価でしたねぇ。そして今年の第14回では、タイトルが「ご先祖様に感謝を込めて」。

「枕崎のお墓や仏前には多くの花が供えられています。これは先祖を大切に想う風土の表れ。枕崎市は墓前に捧げる花の代表である菊（輪菊）の南九州最大の産地で、菊農家が丹精込めて育てています」ということを表現した作品でした。

先日、CM大賞の審査会の模様が放送された。その番組をご覧になったある女性が、次のような感想を伝えてくださいました。その方は昨年、お父様を亡くされたそうな。

「偶然、今年の枕崎のCM大賞の作品を観ました。〝これ、もしかして家の話!?〟と思ったのと同時に泣いてしまった（多分、わが家限定）。今日は亡くなったお父さんの誕生日。不思議なご縁に感謝します。作品を制作してくださった皆さま、ありがとうございます」。

皆さんもぜひ一度ご覧あれ。

※枕崎市の作品＝http://www.kkb.co.jp/event/cm2015/movie/makurazaki.php

おいだげじゃ ながどさねっかい
よろくんJOY
（唱）今年（こどつ）も 花がみごっかいなあ